



立川ひろとしの議会報告

平成27年1月20日
後援会報 57号
発行：立川ひろとし後援会



『ひたすらに 一生懸命に 미래のゆうきをつくりたい』
強い決意でチャレンジすることを決断をしました！

日頃より、皆様には立川ひろとしの活動に対しまして
ご理解・ご支援をいただきまして有難うございます。

また、先の新聞報道にもありましたように、本年4月に
執行される結城市議会議員選挙への4期目の立候補を見送り、
本年夏に予定される結城市長選挙への立候補に向けて活動を
開始することをご報告致します。詳しくは別ページで書かせて
頂きますが、後援会の皆さまには、しばらくの間、お騒がせ
しますことをご容赦頂きたく存じます。

市議として活動する期間も残りわずかとなり、本誌を発行する機会も
限られてまいりましたが、最後まで初心を忘れることなくしっかり
活動し、次のスタートにつなげて行きますので、引き続きのご支援を
宜しくお願い致します。



臨時議会・12月議会でのポイント

今回の臨時議会では、人事院勧告に伴う給与改定が実施されました。
12月議会では、補正予算、出産一時金に関する改定が
行われました。

- ① 結城市職員の給与に関する条例等の一部改正
- ② 人事院勧告・職員新陳代謝を反映した補正予算
- ③ 専決処分の同意（衆議院議員選挙費用の補正予算）
- ④ 一般会計・特別会計 補正予算
- ⑤ 下水浄化センター改築更新工事委託協定の変更
- ⑥ 結城市国民健康保険条例の一部改正



臨時会・12月議会 議会審議の中から

■結城市職員の給与に関する条例等の一部を改正（臨時会）

人事院勧告に基づき、国に準じて関係する条例の一部を改正

①平成26年4月にさかのぼって適用するもの

- ・一般職員の給料表を改正し、給料月額を平均0.3%引き上げ
- ・期末 勤勉手当の支給月額を 年間3.95月 ⇒ 年間4.10月 とする
- ・市長、副市長、教育長及び市議会議員の期末手当についても
支給月数を 年間2.95月 ⇒ 年間3.10月 とする

②平成27年4月から適用するもの

- ・国の給与制度の総合的な見直しに伴い、平成26年4月にさかのぼり
改正した一般職員の給料表を再度改正し、給料月額を平成26年度に
比べて平均2%引き下げる

■人事院勧告・職員新陳代謝を反映した補正予算（臨時会）

- ・人事院勧告に伴う 給与改定による補正 ▲ 5,633.3 万円
- ・職員の新陳代謝にともなう人件費補正 ▲ 2,748.0 万円

職員の新陳代謝とは…

退職（年度末など）や採用（年度始めなど）を経て職員が入れ替わる事。
当初予算 編成の際の人件費算出は予算編成当時の人員構成で行われるが
実際には、その後 3/31の職員退職、4/1の職員採用を経て相違が発生する。
この相違を実情に合わせる補正が毎年この時期に行われる。

郵送・駅での配布・ポスティングなど様々な方法で配布しております。同じものが届きましたらご容赦願います。

■専決処分の同意

- ・一般会計 補正予算 1,650万円の専決処分に同意
(全額が衆議院議員総選挙・最高裁判所 裁判官 国民審査の費用)

■平成26年度 結城市一般会計・特別会計 補正予算

- ① 一般会計・4特別会計 総額 3億 9,173万 4,000円の補正予算を可決
- ② 主な内容は以下の通り

・南部区画整理事務所 移転&解体	1,306.9 万円
・市税 過年度分 過誤納還付金	950.0 万円
・民間保育所施設整備事業 (大規模改修 1施設・増設 1施設)	2億 2943.4 万円
・障害児支援事業費(放課後等デイサービス費)	643.1 万円
・結城西小学校 児童クラブ室整備事業 (実施設計委託・地質調査委託)	415.7 万円
・筑西広域市町村圏事務組合 清掃費分賦金	807.6 万円
・公共下水道事業特別会計 繰出金	978.9 万円
・鹿窪運動公園整備事業	629.1 万円
・市営住宅維持改修事業(修繕)	440.0 万円
・結城中学校特別教室改修工事	864.0 万円
・パークゴルフ場改修工事	169.2 万円
・【介護保険】居宅介護サービス給付負担金	1,024.3 万円
・【介護保険】施設介護サービス給付負担金	▲2,000.0 万円
・【介護保険】地域密着型介護サービス給付負担金	762.4 万円
・【介護保険】介護予防サービス給付負担金	3,378.9 万円
・【介護保険】高額介護サービス負担金	▲ 500.0 万円
・【介護保険】特定入所者介護サービス給付負担金	▲2,000.0 万円
・【公共下水】下水浄化センター 光熱水費	900.0 万円
・【水道事業】石綿セメント管更新事業	1,706.6 万円

■下水浄化センター改築更新工事委託協定の変更

- ・入札差金 3,239万円の発生により減額を行うため協定を変更
(2億 5,200万円 ⇒ 2億 1,961万円 に変更)

■結城市国民健康保険条例の一部改正

- ・出産育児一時金の総額を39万円 ⇒ 40万4,000円に増額

【解説】

出産育児一時金は本来39万円であるが、この額に産科医療補償責任保険料(生まれた子が重い脳性まひになった場合の補償制度分)が加算されて支給されている。

これまで出産育児一時金39万円+産科医療補償責任保険料3万円の42万円が支給されていたが、産科医療補償責任保険料が3万円⇒1万6,000円に減額されたため、42万円の支給を維持する目的で出産育児一時金が40万4000円に引き上げられた。

● 後援会活動をお手伝い頂ける方を募集しております

● 立川ひろとし後援会では、本人の活動を様々な形でご支援、ご協力を頂けるボランティアスタッフを広く募っております。

● ・お知り合いの方を後援会にご紹介いただける方

● ・皆さんのお住まいの地域で広報誌配布のお手伝いを頂ける方

● ・住宅団地などでポスティングをお手伝いいただける方

● などなど、いろいろな形でご協力を頂けたらと考えております。

● また、上記内容にこだわらず、皆さま独自の方法でのご協力も大歓迎です。いろいろ相談をしながら進めさせて頂きたいと思っておりますので、お力添えを頂けますようお願いいたします。

『ひたすらに 一生懸命に 미래のゆうきをつくりたい』 強い決意で決断したことをご報告いたします

過日、新聞報道にありましたとおり（下記 記事） 本年4月の結城市議会議員選挙 4期目の立候補をせず、本年8月 実施予定の結城市長選挙へ向けた活動に入ることを後援会の皆様にご報告致します。また、新聞報道が先になりましたことをご容赦を頂きたく存じます。

これまでの市議会議員の活動の中で、皆さんの願いを実現できたこと、残念ながら実現できなかったこと、様々な想いの中で活動をしてまいりましたが、議員になって早い時期から、市議会議員では実現できることに限界があると感じ、先々は市長を目指すことを視野に置きながら、まずは市議会議員としての活動を充実させることに主眼を置いて取り組んでまいりました。まず『立川ひろとし』がこういった考え方をもって活動しているか知って頂き、市議会議員としての存在を認めて頂けることを第一に、本誌やインターネットなどを活用した広報活動を通しての情報提供、様々な手段で市民の皆さんから情報を頂く窓口をつくること、すべての所管委員会を早期に経験してこういったことが行われているかに触れること、などなど、強く意識しながら議員活動に取り組んでまいりました。

4年前の3期目の市議会議員選挙の前後には、多くの方から上位選挙への期待の声を頂き、実際に市長選挙への出馬の打診も頂きました。しかしながら、市議会議員に当選して間もない時期の急遽の方向転換となりうることや準備時間の問題などの理由で決断に至りませんでした。その分、今期（3期目）の4年間で、次回の市長選挙をしっかりと意識して考える時間にあてるとともに、さらに多くの方々と接する機会をつくりながら活動に取り組み、再度、後援会の皆さまと協議した結果、今回の決断に至りました。

今後も市民の皆様に様々な情報を迅速に提供すること、いろいろな問題を市民の皆様とともに考え解決していくこと、政治資金（後援会収支報告・選挙費用）の公開など、これまでの政治姿勢そのままに、皆さまの隣にいる身近な政治家として活動をしていく所存であります。

今回、記事に掲載頂いた内容を含めた政策についてもあらかたまとまっておる状況で、さらに磨きをかけ、順次皆様にお示ししたいと考えておりますし、皆さんからの御意見をもとに更なる政策の拡充にも取り組みます。

『大好きなゆうきのために働きたい』『あなたといっしょに 未来のゆうきをつくりたい』
という強い信念のもと進んでまいりますので、後援会の皆さまには変わらぬご支援を頂きたく存じます。



**立川・結城市議
立候補の意向**
8月の結城市長選
8月に予定されている結城市長選に、市議の立川博敏氏(41)が立候補する意向を14日、表明した。朝日新聞の取材に答えた。4月の市議選(統一地方選)には立候補はしないという。
立川氏は「3期12年の市議生活を通して市政の様々な課題や問題を解決していくには市議では限界があることを感じ市長選出馬を決めた」と話した。無所属での立候補を考えているという、「政党のバックアップや大きな支持組織があるわけではない。後援会を中心に、時間をかけて地道に支援してくれる市民の輪を広げていきたい」と語った。
政策として、市職員の適正規模を精査することなどを挙げた。「市役所の業務量や内容を誰も正確に把握していない。地方分権や人口減少が声高に叫ばれるなか、役所だけが大きなままでは市民の理解は得られない」と話した。

↑ 2015. 1. 15 朝日新聞 茨城版

**立川市議、出馬へ
結城市長選**
8月23日に任期満了を迎える結城市長選で、同市議の立川博敏氏(41)が14日、茨城新聞の取材に対し、無所属で立候補する意向を明らかにした。近く記者会見して正式表明する見通し。同市長選での立候補表明は立川氏が初めて。
立川氏は「常に市民と隣り合う市長を目指す」と語り、「市民の声を実現するには、市議では限界がある。前回市長選時に支持者から出馬要請もあったことから決断した」と語った。4月29日任期満了の結城市議選には出馬しないという。
市職員の業務量や質を調査して採用調整で適正な職員規模を図ることや、市職員が自治会と結んで課題を解決する「地域担当職員」の仕組みづくりを公約に掲げた。立川氏は2003年に同市議に初当選し、現在3期目。市消防団員などを務めている。日本大卒。

↑ 2015. 1. 15 茨城新聞 1面

3

～ コラム ～ 自分の考えをしっかりと伝える選挙にしたい！

昨年末の選挙は、もともと予定されていた県議会議員選挙に加えて急展開のように決まった衆議院総選挙が同日選となり、皆様にとっても慌ただしさを感じたのではないのでしょうか？ 私も、勉強会の仲間が県議選や市議選に多数出馬しており、県内各地を転戦しながら仲間の事務所を訪問するなど、慌ただしい日々を送りました。

大変不思議だったのが、今回の県議選中、私は県議選 候補者ではないのに、私の行動について事実無根の情報が流されたり、街頭演説で県議選と関係ない私のこれからことが話されていたりと、候補者でもないのにずいぶんいろいろ言われることが多かったということです。

この「事実無根の情報」については、話を流している方が判明しましたので、その方ご自身が間違っただけの情報を流したところ全てに対し、謝罪と訂正をしてもらうこととしました。

噂のレベルも多々ありますが、今回の内容は私のこれまでのスタンスを覆しかねない内容であることや、私からコメントをして対処しないと不本意な話が2次、3次と拡散される可能性があるため、強い姿勢で対処することにしました。

公人は噂の対象になりやすいことも重々理解をしておりますが、全てを許容するのではなく、不本意にかけられた火の粉を振り払うのはごく自然な対応と考えております。また、事実無根の噂ほど面白おかしく広がりますが、いざ間違いと判明しても、訂正してもらえないことは皆無であり、勝手に不本意な話を撒かれたうえに自分で後片付けをせざるを得ないという理不尽なことに時間と労力を費やしているのが実状です。

選挙では、候補者同士が考え方をぶつけ合うことが基本であると考えておりますし、少なくとも自分が候補者となる選挙においては、事実無根な話や関係ない話、存在否定をするような言葉を発しない、正々堂々とした選挙を形づくっていくことが候補者の責任であることも強く感じた選挙がありました。

インターネットでの活動報告もぜひご覧ください！！

HomePage <http://www.tacho-net.com/tacho/>

Blog <http://tacho.blog52.fc2.com/>



<http://www.facebook.com/Hirotoshi.Tachikawa>



http://twitter.com/Tachikawa_Hiro

上記の FaceBoook、Twitter の私のページは、利用登録をしなくてもどなたでもご覧いただけます。そちらも是非ご覧ください！

平成27年 結城市議会 第1回 定例会日程（案）のお知らせ

3/ 4（水）本会議（開会）	3/12（木）予算特別委員会 （教育・福祉委員会 所管）
3/ 5（木）一般質問	
3/ 6（金）一般質問	3/13（金）総務委員会
3/ 9（月）予算特別委員会 （総務委員会 所管）	3/16（月）産業・建設委員会 3/17（火）教育・福祉委員会
3/10（火）予算特別委員会 （産業・建設委員会 所管）	3/19（木）予算特別委員会 本会議（閉会）

※ あくまでも案ですので、変更となる場合もあります

編集後記

今回は、慌ただしい年始だったこともあり、例年より本誌の発行が遅くなりましたこととお詫びいたします。残すところ、本誌の発行もあと1回となりましたが、最後まで、初心を忘れず、情報提供に努めていきますので、ご愛読を宜しくお願いします。

皆様の困り事、ご相談事、私の政策や活動姿勢に対するご意見などもお寄せ頂けましたら幸いです。どうぞよろしくお願いいたします。

